

ミャンマー訪問レポート

社会福祉法人ファミリー
プロジェクトマネージャー
内 山 彰 吾

日時 : 2019年2月10日(日)～2月13日(水)

訪問先: オールアクセスミャンマートレーニングセンター 他

訪問目的: ①2019年3月に来日する介護技能実習生及びご家族との面談、懇親
②将来、介護技能実習生として来日するために勉学に励んでいる学生の激励
③介護技能実習生受入実習実施者の皆様との情報共有、連携確認

参加者: 国際介護人材育成事業団の皆様

介護技能実習生受入実習実施者(9法人)

2月10日午前9時・参加者が成田空港に集合しました。前日に東京で年に数回あるかなにかという降雪があった影響で道端に雪が残る寒い朝でした。参加者は約20名。初対面の方も多くいらっしゃいましたが、介護技能実習生を受け入れる同朋ということもあり、すぐに打ち解けることができました。

午前11時に出国。約8時間のフライトを経て、ミャンマーに到着しました。私自身は今回が2回目の訪問。2年前の訪問時と比べて、町は大きく発展していました。その中で相変わらず人々の表情は明るく、活気に溢れているように感じました。



介護技能実習生が日本語を学んでいるオールアクセスミャンマートレーニングセンターの見学を行いました。訪問時のレッドカーペットでの出迎えや、学生が披露した「ラジオ体操」、DA PUMP「U.S.A.」のダンス披露は日本人以上の「お・も・て・な・し」精神が溢れており、胸が熱くなりました。

実際に当法人に就職が決まっている介護技能実習生との面談では、法人の説明を行うとともに、率直な思いを伺いました。故郷から遠く離れた日本での生活は不安も多いかと思いますが、「体調不良時」に対する不安の声は少し聞かれたものの、「早くいっしょに働きたい」

との声が多く聞かれ、しっかりと前を向いている姿勢に、大きな希望を抱きました。

言葉の壁も心配でしたが、今回の介護技能実習生は全員日本語能力検定 N3 レベルということもあり、日本語での日常会話に支障はありませんでした。



会場を移動し、介護技能実習生の保護者も交えた懇親会に参加しました。一緒に食事をする
ことでご両親、或いはご兄弟との親睦が深まり、お互いに安心することができたと思います。



介護技能実習生としての来日を目指している学生が日本語を勉強している講義も見学しま
した。「こんな難しいことまで勉強するの!？」と私たち日本人でもびっくりするような高
度な講義内容と、大きな声を出して真剣に参加している学生の姿が目に焼き付いています。



多くのことを学んだ訪問でありましたが、特に介護技能実習生を受け入れる法人が持つ
べき責任の大きさを再認識しました。介護技能実習生が戸惑うことなく日本で生活できる
ように、そしてご利用者、職員にも混乱が生じないように準備をすることが私たちの責務で
す。しっかりとした準備を行うためにも大きな意義のある訪問となりました。